

← 遠藤さんとゆかりのある新宿 →

新宿区は俳優人生の原点

私の新宿区歴は約30年。初めて入った劇団の稽古場が神楽坂にあったのですが、すぐ辞めちゃって。「この先どうしよう」と悶々としながら、毎晩思い出横丁で飲んでいました。

それで、自主公演をやることにしたんだけど、稽古場が借りられないから練習はもっぱら新宿中央公園で。その公演を四谷区民ホールで上演してスカウトされ、俳優デビューすることになりました。

劇団員のころから、住んでいる家も新宿区内です。下町の雰囲気があって、近所の人や商店街の人も顔見知りばかり。町内会のソフトボール大会に参加したこともありました。

新しいビルが建ったり、外国人観光客が増えたり、街の様子はどんどん変わっていますが、今も昔もエネルギーが溢れるのが新宿区。こざっぱりしたおしゃれな街もいけれど、ばらばらの個性がぶつかり合う新宿区が好きですね。

デビュー当時22歳の遠藤さん。爽やかな笑顔が素敵です！



えんどけいんち ● 現四谷区民ホールで行った公演でスカウトされデビュー。舞台・ドラマ・映画・ナレーション・CMなど、幅広いジャンルで活躍中。30年以上新宿区四谷エリアに在住。

衣装協力：〈ジャケット〉MONTEGRO (パンツ) INCOTEX
問い合わせ：THE SLOWEAR STORE Tokyo Midtown ☎03-6721-1583
〈シャツ〉NEWYORKER BY KEITA MARUYAMA
問い合わせ：株式会社ニューヨーカー ☎0120-17-0599
スタイリスト：中本コーソウ ヘアメイク：村上まどか



昭和30年代中ごろの新宿駅東口。駅舎は1962(昭和37)年に取り壊され、大型駅ビルが並ぶ現在まで発展を続けてきた。

新宿区成立70周年記念

2017年3月15日(水)に成立70周年を迎える新宿区。新宿区歴約30年の俳優・遠藤憲一さんと一緒に、貴重な写真とともに新宿区の変遷を振り返ります。

写真で振り返る新宿区



Photo History



昭和20年代 伊勢丹隣に建設中の帝国銀行(現・三井住友銀行)



昭和20年代 現・思い出横丁



1950(昭和25)年ごろ 四谷見附橋



昭和30年代 歌舞伎町映画街



昭和30年代 戸山公園「箱根山」からの眺め



昭和30年代前半 外堀風景牛込濠



1957(昭和32)年ごろ 歌舞伎町、コマ劇場



1958(昭和33)年ごろ 歌舞伎町(一番街)

1979 昭和54年



新宿東宝ビル

歌舞伎町のコマ劇場の跡地に、今は巨大ゴジラヘッドが目印のビルが建つ。写真は1979(昭和54)年。



仲間と飲むのは 新宿が多いかな

1952 昭和27年



1952(昭和27)年の新宿駅東口前。右手に高野フルーツパーラーが見える。



新宿駅東口前の交差点

待ち合わせはいつも ここだったなあ



紀伊國屋書店

1947 昭和22年

画像提供：株式会社 紀伊國屋書店
1947(昭和22)年に完成した店舗。前川國男による木造2階建てのモダンな設計。



昭和20年代後半

歌舞伎町

1948(昭和23)年にできた歌舞伎町。写真は昭和20年代後半。



歌舞伎町は俺の散歩コース。運動がてら、四谷から歌舞伎町まで歩きます

2017	2016	2015	2008	1991	1989	1985	1975	1971	1970	1966	1958	1956	1950	1949	1947	
新宿区成立70周年を迎える	新宿駅南口に交通ターミナル「バスタ新宿」がオープン。新宿駅東南口の高架下に「新宿観光案内所」がオープン	新宿東宝ビルがオープン	新宿コマ劇場が閉館	新宿歴史博物館がオープン	東京都庁舎が完成する。都庁が移転し新宿新都心となる	新宿駅開業100周年を迎える	新宿駅周辺の3つの地下連絡通路が開通し、国鉄と私鉄4社の新宿駅が地下でつながる	新宿高速バスターミナル開設	新宿駅周辺の都電が完全撤去される。歩行者天国が実施される	新宿駅周辺の都電が完全撤去される。歩行者天国が実施される	新宿駅の乗降客数が日本一となる	首都圏整備計画で新宿が副都心として位置づけられる	新宿コマ劇場が開館	新宿区役所を歌舞伎町に置く	新宿御苑が一般公開される	四谷牛込・淀橋三区が統合され、新宿区が誕生
			新宿新都心のビル群				コマ劇場前でイベントに見入る人びと					新宿コマ劇場が閉館	新宿区役所庁舎			

新宿区70年の歩み

開店70年の料理店



ビフテキ家あづま

名物・じゅーじゅー焼きやオムライスなど、昔ながらの洋食が味わえます。新宿区より1年早い1946(昭和21)年創業です。



新宿区新宿3-6-12 藤室ビル1F-B1F
☎03-3351-0188
🕒11:30~22:00(日・祝日は21:30まで)
📍なし [MAP P.10-11] D-3

とんかつ鈴新

新宿区と同じ1947(昭和22)年に創業したとんかつ専門店。かつ井は、煮かつ、かけかつ、おろしそうすの3種から選べます。



新宿区荒木町10-28
☎03-3341-0768
🕒11:30~13:30 / 17:00~20:15
(水曜日はランチのみ)
📍日・祝 [MAP P.12-13] C-2

EVENT

「あゝ新宿」
—アングラ×ハブニング×ジャズ」展(仮)

2016年に好評を博した「あゝ新宿」展。展示内容を大幅に変え、文化の街・新宿の60年代・70年代を振り返ります。

会期: 2017年6月3日(土)~7月2日(日) ※予定
会場: 新宿高野本店6F特設会場
新宿区新宿3-26-11 [MAP P.10-11] C-3

問い合わせ
早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
☎03-5286-1829

PRESENT

遠藤憲一さんの直筆サイン色紙をプレゼント!
詳しくはP.27へ



1962 昭和37年

往來のにぎやかな新宿三丁目

1962(昭和37)年ごろの新宿三丁目。伊勢丹新宿本店が見える。



ちなみに俺は1961年生まれ



懐かしい! 新宿区の昔の風景

今とはまるで違う風景に、新宿がいかにも急速に発展してきたかが分かります。行き交う人々の着ているものや車にも注目です。



1962 昭和37年

都電が走る靖国通り

1962(昭和37)年の靖国通り。当時は都電が行き交っていた。



新宿区 今と昔

新宿観光振興協会 理事長

大西 洋

新宿は1979年入社以来、毎晩飲み歩いた庭のような存在です。新宿の魅力はさまざまな顔を持っていることだと言われてきましたが、これからさらなる発展を遂げるためにも、ハード・ソフト両面での国際的な街づくりが必要だと思います。



新宿区歴約30年のお二人(写真左が大西氏)



大西氏、入社1、2年目のころ

1959(昭和34)年ごろ、新宿駅の駅舎はまだ小さく周囲の商店もこじんまりしていた。



1959 昭和34年

商店が並ぶ新宿駅西口



1969 昭和44年

若者の熱気高まる新宿駅構内

1969(昭和44)年ごろ、新宿ではフォーク集会在行われ、多くの若者が集まった。



1964(昭和39)年の東京オリンピックと新宿

世界が日本に注目!



オリンピックモニュメント

新宿駅西口にはオリンピックモニュメントが設置され、降り立つ人々を出迎えた。



新宿を駆け抜ける聖火ランナー

青海街道成子坂付近を走る聖火ランナー。沿道では大勢の人が歓声をあげた。

新国立競技場

[MAP P.12-13] A-4

コンセプトは“木と緑のスタジアム”。東京2020オリンピック・パラリンピックはここで開会!



1963(昭和38)年、東京オリンピック前年の明治神宮外苑 撮影:中島信夫



大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所JV作成/JSC提供

新宿観光案内所

[MAP P.10-11] C-3

2016年12月、新宿駅東南口にオープン。新宿の観光情報を発信します。



1966(昭和41)年の新宿駅東南口の陸橋



バスタ新宿

[MAP P.10-11] C-3

新宿と地方の各都市を結ぶバスのターミナルが2016年4月にオープン。



1964(昭和39)年ごろの国道20号(新宿跨線橋)



写真提供: 東京国道事務所

新宿はまだまだ変わっていく!

より便利により魅力的に、新宿はまだまだ変わり続けています。

いつの時代も新宿の活気を感じる!



Photo History



1958(昭和33)年ごろ「十戒」の看板が目を引くミラノ座



1959(昭和34)年 神楽坂、坂下方向よりの夜景



1959(昭和34)年 二幸(現・アルタ)屋上から見る高野ビル



1959(昭和34)年 戸山公園「箱根山」からみる戸山教会



昭和30年代後半 新宿駅西口広場



1960(昭和35)年ごろ 高田馬場駅前



1961(昭和36)年 中井駅前を走る西武電車



1961(昭和36)年ごろ 国鉄四ツ谷駅前